



福岡県議会議員(久留米市選出)

な か む ら

中村かつき

県政報告

Vol.1

県議会議員補欠選挙にて 初当選いたしました。



今年の2月下旬、小川洋福岡県知事の突然の辞職表明により、県知事選挙は勿論のこと、それに併せて県議会議員の補欠選挙も実施される運びとなりました。補欠選挙を実施する県議選挙区は福岡市西区、久留米市、八女市八女郡の3地区で、いずれも欠員は1名ずつでした。私が立候補した久留米市選挙区では、私以外の立候補の届け出がなく、選挙運動は告示日の4月2日の1日だけで無投票当選が決まりました。短い選挙戦でしたが、多くの方から激励を頂き、心から感謝しています。当選の知らせを聞いたとき、足が震えて雲の上を歩いている気持ちでした。

これからは県議の名に恥じぬよう、地域の代表としても、若者の代表としても、あるいは女性の代表としてもしっかり地に足をつけ、歩みを進めていきたいと思っています。どうか変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。

福岡県議会議員 中村香月

福岡県議会 6月定例報告

令和3年6月議会定例会は、6月4日から6月22日までの19日間開催されました。開会日に上程された議案は、開会日に令和3年度補正予算議案2件、福岡県税条例の一部を改正する条例、福岡県婦人保護施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例などの条例議案10件、契約議案13件、その他の議案5件、合計30議案が上程され、更にコロナ対策関連の追加予算議案が6月15日、最終日にそれぞれ1件が提案されました。

開会日には、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算議案1件の審査を行い議決されたのち、代表質問、一般質問、常任委員会を経て、定例会最終日の6月22日に採決が行われ、いずれの議案も可決されました。

所属会派の代表質問内容

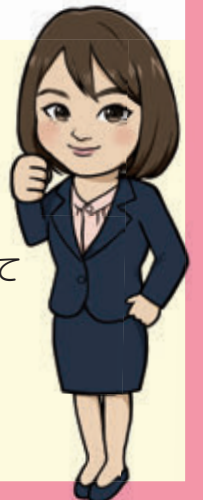
1 県政推進の基本姿勢について

- 知事の政治姿勢について ●ジェンダー平等の推進について ●次代を担う人材の育成について
- 児童虐待対策について ●災害対策について ●性暴力根絶に向けた更なる取組について
- 子供の貧困ゼロに向けた社会づくり、社会的・経済的に厳しい状況を強いられている方の支援について

2 新型コロナウイルス感染症対策について

- 医療提供体制の確保と医療現場への支援について ●感染封じ込め対策について

3 教育施策について



一般質問を致しました



知事は「ゲズ」のことをご存じでしょうか？

ゲズとは柑橘類のカラタチという品種のことで、16世紀のキリシタン資料のバレット写本にも出てくる九州地方だけで使われる歴史ある方言です。今なお地元のミカン苗木農家では標準語の「カラタチ」と呼ばずに、長く慣れ親しんだ「ゲズ」と言い続けています。国内で生産される95%以上のミカン苗木の台木にこの「ゲズ」を使った接木方法、いわゆる栄養繁殖法が採用されています。私の地元の久留米東部地域では、これを大量に再生産できるシステムが確立されていますので、全国シェアの8割を誇るミカン苗木の一大産地となりました。しかしながら、全国果樹苗木の価格設定に殆ど影響力がなく、50年前と変らぬ単価が連続と続いたせいか、苗木生産農家の経営体質は未だに脆弱なままです。服部知事は今般の知事選挙に際し、農林水産業は本県の基幹産業であると明言され、「稼げる魅力ある産業」にすると公言されていました。そこで質問いたします。

要望

本県の柑橘苗木は、全国の8割を占めるわけですから、特産品なのですが、そのことを多くの人々が承知していません。つまり商品のブランド化がなされていないこととなります。

一方、福岡県庁のホームページには、福岡の果樹として「みかん」「いちじく」を始め、8つの果樹が本県の農林水産ブランドとして紹介されています。多くは久留米市で生産された果樹苗木が成長して実をつけたものなのに、矛盾を感じざるをえません。

本県の農林水産ブランドを守るために果樹苗木のブランディングを始め、未収益期間支援事業など果樹生産側と同等の支援策を要望します。

問 全国のミカン苗木の8割のシェアを占める本県のミカン苗木・果樹苗木こそ「福岡県が誇る農林水産物」と考えますが、知事のご所見は？

答 本県の柑橘苗木の生産量は全国シェアの8割、なし苗木は2割を占めるなど、日本一の果樹苗木産地となっており、果樹苗木は、本県の重要な農産物です。

問 果樹苗木の需要拡大につながる本県の果樹農業の振興をどのように進めるつもりでしょうか？

答 本県では「稼げる、魅力ある産業」を実現するために果樹では「早味かん」「甘っぴい」などの県独自品種を開発し、ブランド化に努めています。こうした取組により、果樹苗木農業の振興を図ることで、本県の果樹苗木の需要拡大に繋げてまいります。

問 気候変動状況を含め、苗木産地が安定して生産できる県の支援策について、知事のご所見は？

答 県はこれまで、果樹苗木生産者に対して、育苗ハウスや苗木の掘り取り機など、施設・機械の導入を支援してきたところです。こうした支援で、本県の果樹苗木産地の発展に努力してまいります。

Profile

プロフィール



中村かつきプロフィール

平成18年 久留米市立竹野小学校 卒業
 平成21年 久留米市立田主丸中学校 卒業・福岡県立朝倉高等学校 普通科 入学
 平成24年 福岡県立朝倉高等学校 普通科 卒業・立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 入学
 平成25年 1年間休学しカナダへ留学
 平成29年 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 卒業・アクセンチュア株式会社 入社
 令和3年4月 福岡県議会議員補欠選挙 初当選

現在の役職

常任委員会：総務企画地域振興委員会
 特別委員会：国際化・多文化共生社会調査特別委員会
 その他：議会運営委員会

中村かつき後援会事務所

<https://nakamurakatsuki.jp>

中村かつき後援会事務所

検索

田主丸事務所

〒839-1233 久留米市田主丸町田主丸 459-2 TEL 0943-73-3755 FAX 0943-73-3588

